

2023年9月16日

日本国際秘書学会 西日本支部研究会 活動報告

日時：2023年8月19日（土）14:00～16:30

場所：あべのハルカス四天王寺大学サテライトキャンパス

内容：研究発表・ラウンドテーブル

2023年度の西日本支部研究会は、久々に対面方式で開催し、研究発表やラウンドテーブルを実施した。（以下のとおり）

1. 授業事例報告 児島尚子（大阪樟蔭女子大学 准教授）

「マナーとホスピタリティ」の授業事例

2. 研究発表 東野國子（四天王寺大学 講師）

「地域連携を意識した観光課での1day実習の取り組みについて」

3. 研究発表 高松直紀（大阪樟蔭女子大学 准教授）

「ビジネス実務教育と社会人基礎力育成に関する展望」

4. ラウンドテーブル

①アフターコロナの授業の工夫・プレゼンテーション授業等の進め方について

（進行担当：福井愛美 神戸女子短期大学 教授）

・コロナ禍でオンライン授業に慣れた学生たちは、対面授業に変わり、発表等が不得意になってきたように思われるため、今後どのように指導していけばよいかを話し合った。

大学により異なった意見が出た。（以下のとおり）

- ・昔の学生とちがって、発表する機会が増えたせい（オンラインの授業でも）、かなりうまくできるようになった。
- ・アフターコロナで対面授業となってから、前にも増して、受動的な態度になり、発表を嫌がる学生が増えた。

提案として、

学生たちに1分間スピーチをさせた後、聴いていた友人たちに感想を書かせ（友情カード）、本人に渡す。その折には、できるだけ褒めるようにさせる。

発表の内容は、学生たちにとって興味があるもの（化粧品やカフェなど）にすれば、比較的積極的に発表するようである。

②前理事3名により、理事会運営を振り返って、試みたこと、苦労したこと、そして今後期待することについてお話しいただいた。

（進行担当：兒島尚子 大阪樟蔭女子大学 准教授）

・平田祐子（日本国際秘書学会 前会長）

日本ビジネス実務学会を意識し過ぎていたように思う。本学会は、唯一「秘書」が付く学会であるため、その特徴を出すべきかと思われる。

今後は、もっと企業人にもご参加いただき、研究年報に「企業レポート」などを掲載してはどうかと思う。

・福井愛美（日本国際秘書学会 前理事）

編集委員長として苦労してきた。当初40万円の予算で、研究年報を依頼していたが、9万円代まで下げていただくよう工夫をした。

・東野國子（日本国際秘書学会 前常任理事）

会計担当として、経費節約に努力してきた。

\* 3名の共通のご意見として、西日本支部会は、和気あいあいとした雰囲気意見交換を行ってきた。それぞれ地域のカラーを大切に、支部の雰囲気の特徴を活かし、もっとその良さをアピールし、会員の方々にお集まりいただきたいと思うということであった。

最初の研究発表や授業事例報告で、活発な質疑応答がなされたため、時間配分が狂ってきて、ラウンドテーブルに費やす時間が短くなってしまったため、頂いたご意見は以上のようなものとなった。

支部長がもう少し時間配分を考え、うまく進めていくべきであるということが、今回の反省点である。

以 上

作成 兒島